



次世代「5G」インフラストラクチャとしての光アグリゲーションネットワーク



- センサーやスマートフォン等の接続数の増加に伴うサービスの多様化
- 高精細ビデオ(4K/8K)によるトラフィックの増加に伴う消費電力増加

2020年(東京オリンピック)をターゲットに「5G」の実現

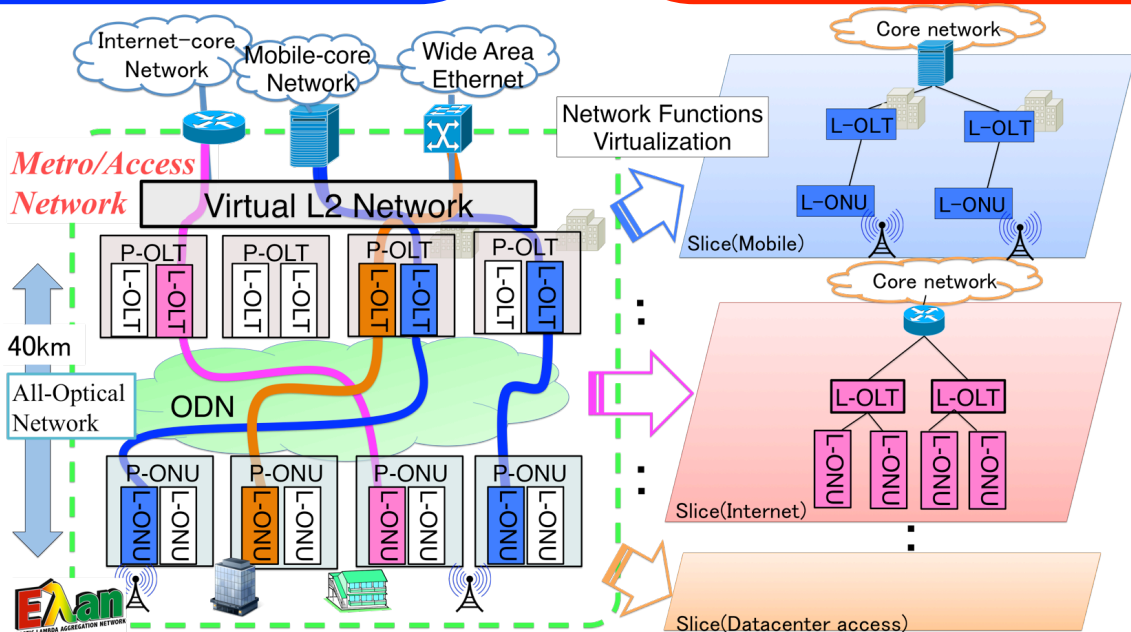
「5G」インフラとしての光アグリゲーションネットワーク Elastic Lambda Aggregation Network (EΛAN)

5Gの主な課題

- トラフィック増加への対応
- サービスの多様化
- End-to-Endの低遅延化
- 消費電力削減
- NW機器汎用化によるコスト削減
- 接続可能デバイス数の増加(センサー等)
- 災害時における耐障害性

EΛANの主な特徴

- ODNによる要求帯域の柔軟な提供
- メトロ・アクセス網の統合と光長延化
- NW機器プログラマブル化(P-OLT/P-ONU)
- トラフィック変動に応じたP-OLT sleep
- 複数サービスNWの統合によるマルチQoSスライスの提供
- L-OLTマイグレーションによる障害対応
- 光アドホックネットワークの実現



お問合せ先

慶應義塾大学 工学部 情報工学科 山中研究室
Mail: photonic@yamanaka.ics.keio.ac.jp

Keio University